

令和5年度 第4回 牛津高等学校 学校魅力強化委員会（学校運営協議会）議事録

「佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱」第8条第2項に基づき、次のとおり、第4回学校魅力強化委員会（学校運営協議会）の会議録を公表します。

開催日 令和5年10月5日（木）於 牛津高等学校会議室

開催時間 17:00～18:30

出席者数 委員9名 事務局3名 教育振興課1名 SAGA コラボ校内委員2名

出席者氏名 委員：長戸、高元、野口、横尾、戸村、大坪、金森、ドジソン、江頭
事務局：福島、古川、北村 佐賀県教育庁教育振興課：細國
SAGA コラボ校内委員：峯、中島

【会議の内容】

1 開会

2 協議

(1) 令和5年度学校評価中間評価

◎牛津高校での学校評価について、各取り組みの進捗状況がデータに基づき評価され、今後の課題や改善点が示された。

《学力の向上》

主体的な学びや基礎学力の向上、学習習慣の定着に取り組んでおり、生徒の主体的な取組に関するアンケート結果からある程度達成していると考えられる。これから、校外学習の機会も設けられる予定である。また、学力についてのデータは次回報告予定である。

《心の教育》

生徒の豊かな人間性を育む教育活動については、アンケートの「他者を理解し思いやりを持って人間関係を形成できた」という質問に対して、80%の生徒が肯定的に回答している。引き続き生徒たちの人間関係に注意を払い、全員が安心できる環境を目指していく。また、いじめの早期発見・早期対応については、迅速で組織的な対応を心掛けているところであるが、生徒の認知とのギャップがある。

《健康・体づくり》

食生活や食の自己管理能力の向上に取り組む、8割の生徒が「健康に良い食事をしている」という質問に肯定的に回答した。

《働き方改革の推進》

残業時間が若干増加したものの、定時退勤日を設け呼びかけるなど、昨年度並みの取り組みはできている。

《志を高め、他人のために働くことができる生徒の育成》

仕事や人のために役立ちたいという生徒の割合は高い。さらに、「地域のために役立ちたい」という生徒の育成を図り、生徒が持つ「働くことへの不安」減らす工夫をしていきたい。

《選ばれる学校に向けた県内外への情報発信》

学校説明会にはすべて参加し、ホームページの工夫や、小城市の協力を得て情報を発信するなど、積極的な広報活動を実施した。これからも、SNSなどの活用や生徒にも発信に関わってもらえるような工夫をしていく予定である。昨年同様、長崎県の佐世保市の中学校を訪問する予定である。

《魅力評価システムを活用した学校改善》

生徒の肯定感は向上しているものの、生徒の「学校での満足感」が「中学生へお勧めできる」につながっていないところの分析が必要である。社会性に関する学習活動の数値が昨年度より低下している。特に、様々な地域連携事業を実施しているにも関わらず、生徒の地域への意識が低いことが課題と考え、1年生に地域連携講座を新設し、意識醸成を図る予定である。

(2) 進捗状況報告

※新たに加わったものについて報告

○地域連携事業実施状況

- ・牛尾山の麓の整備を夏からスタートした⇒学校の継続した取組としていきたい。
- ・地域が実施する市民会議など地域の課題に触れたり、地域の課題を考えたりするセミナーにできるだけ生徒を参加させている。

○情報発信

- ・HPに「中学生・保護者のみなさんへ」のバナー追加
- ・HPにSAGAコラボのバナー追加（県のHPの活動報告書とリンク）
- ・インスタ開設
- ・小城市LINEにさわやか新聞掲載
- ・ゆめぷらっと小城に新制服紹介パネル設置

○県外募集

- ・小城市で生徒の下宿を受け入れてもらえる先の募集を開始予定

(3) 意見交換

進捗状況報告の後、それぞれの項目の課題について、解決策や改善策について意見交換がなされ、学校全体の状況を委員会の中で共有することができた。

(4) その他

- ・ 次回の会議や記念式典や文化祭のスケジュールについて連絡
- ・ これから行われる研修会の案内
 - SAGA コラボレーション・スクール及び SAGA スマート・ラーニング中間報告会
「高校の魅力化って？地域×教育で唯一無二の学びを考えよう」
 - 佐賀県コミュニティ・スクール研究大会
 - 全国コミュニティ・スクール研究大会（鳥取県）

3 閉会